希望と魅力ある建設産業を目指して

建設投資の低減などによって、就業者数の大幅な減少とともに、若手入職者が減少し、枯渇傾向にかつて高齢化の進行がより顕著に表れている建設産業。暮らしに欠かせない社会資本整備を支える担い手の確保・育成のためにも、若者にとって魅力ある産業にしていかなければならない。担い手のみなら ず、建設業で働く人々が仕事に誇り・やりがいを感じ、将来にわたって夢が持てる建設業界にしていくために求められるものはなにか。そうした問題について、産学官のメンバーで話し合ってもらった。

Discussion 座談会　新3K（給与・休暇・希望）へ、産学官の連携を

第二ニュージェックス愛本社 社会計画プループ 宇野 元浩氏

中央復建コンサルタンツ東北支社 （前田コンサルタンツ仙台支店長兼支部長） 兼塚 卓也氏

国土交通省 近畿地方整備局 企画部長 井上 智夫氏

パネリスト

広島商工高校の学生による模擬学習

■司会　建設業界は、近年、ICTを活用した生産性向上や、ロボットを活用した作業の効率化などに取り組んでいるようです。また、若者や女性、外国人の方々が活躍できる環境を整えるなど、魅力ある産業を目指すことが、業界の共通の課題であると思います。建設業界の魅力を高めるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

■宇野　建設業は、自然相手、社会相手の産業であり、人間の生活に密着した産業であると思います。建設業に携わる人が、誇りを持って仕事ができるような環境を整えていくことが、業界の魅力を高めることになると思います。

■兼塚　建設業は、自然相手、社会相手の産業であり、人間の生活に密着した産業であると思います。建設業に携わる人が、誇りを持って仕事ができるような環境を整えていくことが、業界の魅力を高めることになると思います。

■井上　建設業は、自然相手、社会相手の産業であり、人間の生活に密着した産業であると思います。建設業に携わる人が、誇りを持って仕事ができるような環境を整えていくことが、業界の魅力を高めることになると思います